

境港市社会教育委員会議 会議録

平成 30 年 8 月 30 日

境港市社会教育委員会議（平成30年8月30日委員会議 会議録）

召集年月日 平成30年8月30日 15時00分
召集場所 市役所第3会議室
開 会 15時00分
出席委員 足立 光枝 遠藤 恵子 遠藤 恵裕 梶川恵美子
門脇規矩子 門脇 哲也 金津 唯可 木村 一也
古徳 寧 白井 靖二 増岡 茂 山田 哲男

説明のために出席した者

教育長 松本 敏浩
生涯学習課長 黒崎 享
生涯学習課課長補佐兼生涯学習係長 濱田 潤
文化体育係長 竹内 勝
文化体育係主任（社会教育主事） 竹本 夏樹
鳥取県教育委員会事務局 社会教育課 社会教育主査
福田 範史

説明以外の出席者 なし

傍 聴 者 なし

会 議 書 記 濱田 潤

研 修 演題：社会教育委員とは

講師：鳥取県教育委員会事務局 社会教育課 社会教育主査 福田範史

報 告 (1) 平成30年度社会教育関係事業概要について
(2) 教育委員会の点検・評価について（社会教育関係事業）
(3) その他

閉 会 17時15分

(15:00 開会)

生涯学習課長 開会
教育長 挨拶
福田主査 研修
生涯学習課 報告 (平成 30 年度社会教育関係事業概要について)
(教育委員会の点検・評価について)

委員 2点ありますが、1点は質問ですが、十数年前から地元の小学校で読み聞かせのボランティアをしています。初めて～2～3年位たった時に、自宅と学校を行き来する間に、事故にあった場合に保険対象となるので、校長先生から住所と名前を書いてくださいと言われ書きました。しかし、その一回書いただけで、十何年たっています。その間に3年間ボランティア活動を休んでいた時期がありました。今年度から復帰しましたが、そういった話がなかったので、現在もボランティアの方は保険に入っているのでしょうか。

生涯学習課 ボランティアに関する保険につきましては、毎年年度初めに学校を通じて名簿を出していただき、それを基にかけています。この場に本年度の名簿は持っていませんが、ボランティアをしていただいているようでしたら、学校を通じてお名前が挙がっていると思います。

生涯学習課長 市が行っています学校支援ボランティアとして、ボランティアをしていただいているかという問題があります。

委員 十数年前に保険に入った時は、学校支援ボランティアでかけていただいていると思っていました。

もう1点は、毎年ブラスフェスタをされています。前回の社会教育委員会会議を欠席しました。議事録を送っていただき読ませていただきました。内容はブラスフェスタに小学生が参加出来ていない。小学校に金管クラブを置けない状況。市内で現役を離れている方が放課後や、土曜や日曜など学校が休みの時に指導出来る方々をお願いして、金管クラブが作れると良いんじゃないかと載っていたと思います。そのことについて話し合いがなされているのかということと、私の娘が3人いて大学生と高校生で大きいですが、3人とも小学校4・5・6年の時に金管クラブに入っていました。一生懸命で楽しく過ごさせていただきました。ブラスフェスタもすごくいい思い出で、いまだに話をします。スポーツが得意な子、大好きな子は、スポ少が沢山あって、学校の先生の手から離れて地元の方々がすごく一生懸命子ども達の指導に取り組んでいただいています。文化的なことは、なかなかありません。スポーツが苦手でも楽器を触ってみたいという子はいらっしゃいます。個人的に習うと、ピアノとかエレクトーンとか限られてし

まいます。家における楽器に限られるので、そういった金管クラブみたいなものが小学生の時に参加出来るような場所があると良いなと改めて感じました。学校の先生たちは多忙ですので、スポ少みたいに学校の先生の手が離れた部分で場所は学校借りるなどして、出来るものであればそういう場所が作ってあげたらなと個人的には思います。検討していただければと思います。

生涯学習課

まず、プラスフェスタの小学生の参加については、現状上道だけです。しかも、上道についても、元教員の方が上道に指導に行ってもらって、なんとか出演出来ている状況です。ご意見のありましたスポ少やスポーツ団体は沢山ありますが、そういった部活動は少ないと思います。また、そのあたりは、プラスフェスタの実行委員会の中でも、小学生にも出てもらいたいという思いはありますので、議題として挙げて検討させていただきます。

委員

実態としましては、小学校で以前は金管クラブのようなものを作りやっている学校もありました。今現在、なくなっていった要因は、継続して指導出来る教員がなかなかいない現状にあります。教員の数も少なくなりました。金管の経験がある教員が学校にいる確率も減りました。自分が吹いたこともないのに、指導が出来なくて継続することが難しくなりました。

生涯学習課長

先ほど話がありました教員ではなく、外部指導員が放課後等に学校を借りて指導する事は可能でしょうか。

委員

どういう組織でやるか、ただ場所を学校の施設の一部を使うだけなのか、学校としてやるのかで変わってくると思います。

委員

中学校の部活動も一緒ですが、昔の学校の規模と比べますと全然小さくなってきています。本校でも、今年柔道部が廃部になるという状況があります。前任校でも、サッカー部、それからハンドボール女子がなくなるという状況にあります。入らない年があつて、全く活動が出来ない。教員の数も学級数で決められますので、減ってきています。1つの部に1人の顧問をつけるのが今やつとのような状況がある中で、部活をやっています。社会教育との兼ね合い。社会体育だとかとの兼ね合いで、部活ではないですが、そういうことをやっていく子ども達をどう地域で支えていくか、そういったことを考えていかないといけない。今日お話しを聞く中で、この組織は非常に大切な部分を持っていると感じました。先ほどの金管バンドのことですが、団体でするのである程度の人数がいないとそれなりのことが出来ません。音楽で言えばメロディーがあつて、伴奏があつて、それからリズムがないと音楽にならないですが、少なくともその3つの役割を果たすには、ある程度的人数が必要となります。音楽の形を作るためには、

それだけのことが必要ですが、それだけの人数を集めることが出来ない。何人かで楽しく楽器を弾きましょうは、出来るかもしれませんが。演奏として、発表として成り立たないところが現状です。それから、西部地区には小学校金管バンドフェスティバルがあり、そこに境港市も以前加盟していました。そこで、刺激をもらいながら、来年はこういうことをやってみようという中で、継続してやっていました。金管バンドフェスティバルから離れてしまいました。子ども達が色々なことを望んでいく中で、1つの学校では難しい部分もあります。市全体で考えるところが必要だと思います。金管バンドは4年生くらい。体がある程度出来てからでないといけないのかなと思います。

教育長 スポ少はシューズを買って、ユニフォームを買ってで済みますが、金管バンドになりますと、楽器そのものの負担をどうするか。学校が揃えるのか、市が揃えるのか、保護者負担にするのかという問題もあります。学校の中での指導が難しいとなれば、先ほど提案がありましたように市の中にウインドアンサンブルという大人のグループがあります。そういったグループの中にジュニア部門とか、先ほど言われたように社会教育の中で地域の力の中で、子どもの活躍する場面が出てくればいいのかと思います。合唱もそういった形で、子ども達がやっていますので、その様なことを市の方で考えていきたいと思っています。

委員 ちなみに今まで使っていた楽器はまだ小学校に保存されていますか。

委員 あります。ありますが、使っていませんので、メンテナンスが必要な状態にあります。

教育長 当時3年間で集中的に予算を組んで、各小学校に楽器を揃えた時期がありました。それを、暫く使っていただきましたが、あれから20年位たっていますので。学校が意欲的にされるのであれば予算を考えますし、難しいという事であれば、別のことを考えていかなければなりません。

委員 1 ページ目の中学校の花植え植栽、それから読み聞かせ。大人が来て、花を植えているんですか。子どもがしているんですか。

生涯学習課 2 中から、プランターに植えられた花を用意してもらえないかとありまして、それをボランティア・幸朋苑の方が整備して持ってきてくださいました。

委員 子どもに生きる力を備えさせる指導をしないといけないと思います。花をもらうだけでなく、自分たちで植えて育てるとか、学校をきれいにするとかそれくらいの指導の仕方をしないといけない。何でもやってもらう考えではいけないと思います。見守りも、良いことだと思いますが、子どもを連れて、見送ってだけではいけないと思います。警察 生活安全課が年

に 1 回、年度当初、各学校に講習会をしていたと思います。歩道の歩き方を教えて、不審者が来た場合は反対側を歩く。1 列に歩く指導をしています。今の子ども達には全く指導が徹底していません。後ろ向きに話しながら歩いています。本当の不審者が来た時に自分で防衛出来ない。何でもしてあげるのではなく、子どもに自分の身は自分で守る。そういった指導を教えていかなければならないと思います。

中学生への読み聞かせもどうかと思います。

本当に子ども達の力がつくかそういったことも考えながら学校支援をしなければいけないと思います。

2 日前に元校長先生から連絡がありました。県の退職校長会が、鳥取県の教育の日を数年前からやっておられます。境港市はコミュニティ・スクールを一生懸命している。退職された校長さんや学校の先生にどんどん関わってもらいと良いのではと話をしたところ、そんなことがあるのですかと言われました。退職された校長先生方等にもっとコミュニティ・スクールや学校支援等を発信して、巻き込んだ方が良いのではと思います。

教育長

何点かのお話がありました。地域からの子育て支援という部分について、子ども達を守るだけでなく、力をつけてやる。それは、学校の先生ではなく、地域から力をつけてやるそういった質の高いものに変えていかななくてはいけない。私も思っています。

本の読み聞かせは、読書力だけではなく、色んな目的を持ってやっています。中学生でも、大人でも読み聞かせは効果がありますので、私はこれからもあっても良いかなと思っています。

確かに、情報提供も悪いですが、校長 OB 会の動きがなかなか学校の方に向いてくれないという悩みがあります。是非協力を求めるような情報発信をしたいと思っています。

委員

退職校長会から、私達が出来ることがないですかと常に学校の方に言っていると思います。お願い出来ることは、お願いしようと思っています。

委員

学識経験者による指摘・助言の中で、「各公民館の・・・地域間にばらつきがある」とありますが、余子地区が良いように書いてありますが、地区社協はどういうことをされていて良いという意味でしょうか。

生涯学習課

余子地区が農業塾という事業をされておられます。公民館、自治会や地区社協が子ども達と一緒に、サツマイモを植えて、育てて、収穫をして、収穫祭をしてと地域が一体となって活動をしておられます。その部分で、地区社協が関わっておられ、挙げておられます。

委員

以前は各地区でも、様々な活動をしていました。最近は、出来ていないので、学校からの要望があれば出来ます。

生涯学習課長 学識経験者が余子地区の方なので、このような書き方となっていると思います。他地域が全くやっていない訳ではなく、余子のことを書かれました。

委員 各地区の高齢者の方が昔からやっていることを教えてくださいと依頼されれば、されると思います。学校からの依頼が今はあまりないのではと思います。教える方があると思いますので、子ども達がやりたいという事があれば学校から依頼されると教える方が出てくると思います。

委員 私の場合は、私から小学校にお願いに行き「こういうことが出来ます。どうでしょうか」とか、学校に伝えています。お手玉作りが、折り紙になったりと変化がありますが、続いています。

私は、公民館運営審議会委員をしています。校長先生と一緒にあります。こういうボランティアをさせてもらえないですかねと伝えますと、小学校に持って帰られます。昔遊びなど今も続いています。こちらから働き掛ける、また公民館にもお願いされたら良いと思います。こちらからしますと働き掛けても、子ども達も部活等で忙しいので、出来ないこともあります。投げかけてみることも、大事かなと思います。

教育長 色々良い意見をだしていただきました。学校の願い、あるいは地域の願い。学校への支援と子ども達の地域での活躍の場、そういったことの機会をうまく捉えながら、子ども達に力をつけていくことが大切だと思います。そういったことを組織的に継続的にやっていこうというシステムが、コミュニティ・スクールです。なんでもかんでも地域から助けを求めるという事ではなく、子ども達も様々な機会を捉えながら、地域で活躍する。一方で地域からも学校教育に支援をしていただいて、子ども達に力をつける。そのようなことが境港の方で展開してくれば、子ども達の力も変わってくるだろうし、地域の活性化も変わってくるのかなとそんなことを楽しみにしながら、事業に取り組んでいます。情報提供等が不足している部分もありますので、丁寧に地域に発信しながら色々な人に協力していただきたいと思います。

委員 学校では、地域にこの事業の中でこういうことをしてもらいたいと各学年ごとに年間スケジュールが決まっています。それなりのことをやっています。渡の例でいいますと、以前はボランティアの人をお願いしますで終わっていました。ここ 2~3 年は、学校が「子ども達をこういう風に育てたいと」事前にボランティアと打ち合わせをしています。また、近くになれば、こういう風にやりますと打合せをします。終わったら、反省会をします。読み聞かせでも、打合せをせずに読み聞かせをして終わる。1年生には、1年生に読ませる本でないといけない。ボランティアも効果があっ

たかも分からない。学校から、こういうことをしてくださいと伝えないと効果が表れません。これからの課題だと思います。

学校に芝生を植えました。ここで言うべきではないかもしれませんが、運動会がありました。草が生えていました。6月の敬老会の頃には、綺麗に刈ってありました。シルバー人材センターが刈ったと聞きました。当初植えた時は、芝生を植えると、子ども達は裸足でも運動が出来、体力もつくということでした。地域の高齢者にも協力してくださいとのことで、高齢者が芝を植えました。その時に、管理はPTAと学校の先生でしますとのことでした。その後、数年は管理がされていました。その申し送りが、学校もPTAもされていないのか分かりませんが、今年になったら各学校の芝刈りはシルバー人材センターが行っていると聞いています。申し送りをきちんとしないといけないと思います。運動会をやっても草が生えている。芝を植えた高齢者には、敬老会の際に芝が傷むので自動車を入れさせない。

委員

全部がそうだとされると違います。境小学校では、校長先生・教頭先生が一生懸命やって、汗をかいて、砂をまいたり草を刈ったりしておられます。また、PTAも一生懸命やっておられます。境地区の場合は、運動会の時は皆が使いますので、地域もお手伝いしますとのことで地域の方たちにも出ていただいて、一緒になって草刈りをしています。

委員

今年からシルバー人材センターさんの方で草刈りをさせていただいています。市の方に配慮していただき、予算をつけていただき、全校がそうになりました。去年までは、学校によって違っていました。PTAに芝の管理をする組織を作っている学校もあれば、そうでない学校もある。様々な状況があって、管理が大変なので市が予算をつけてくれました。今年度になってからは週に1回来ていただいています。去年までは私や教頭やあるいはPTAが行っていましたが、今はお願いしています。時折、天候の関係で来る予定の日が来れなくなった場合には、伸びすぎるので我々が刈ることもあります。基本的に週末、シルバー人材センターにやっていただいているのが今年の現状です。

委員

グラウンドを毎日見ますが、この頃は綺麗です。なぜ、こんなに綺麗かなと思ってましたら、シルバー人材センターさんが来られていました。外江小学校の場合は、5月に校区運動会がありますので、それまでは教頭先生が中心となって、PTA等が芝刈りをやって運動会は綺麗です。シルバー人材センターさんが来られるようになって、学校も忙しいので、良いかなと思ってました。ちなみに外江は、8月の最終の日曜日にずっと何年もしていますが、地域全体を挙げて、クリーングリーン作戦をしています。

親も子も全部出て、地域も出て、学校やなかよし広場や西灘やそれぞれの場所に別れて、草刈りをやっています。青少年育成境港市民会議外江地区部会が主催でやっています。

委員

やることはやっています。私が言いたいことは最初に芝を植えた時の約束と違って、シルバー人材センターを使わないといけないかという事です。

委員

私は反対に思います。10年たって変わっています。学校も様々なことをしなければなりません。10年前と大分違うと思います。

教育長

今の議論を予算を取る時に市長ともしています。芝そのものは、どういった形でスタートしたのか。みんなで協働してグラウンドを整備するという条件の下で、みんなの協力を得ながらスタートしたのではないかというような話がありました。PTAの方が管理するという事で、去年までずっとそういう方法をとっていました。最近の親の環境も随分変わってきています。そういった中で、PTA 联合会の方から市の方で何らかの予算を確保してもらえないかと要望があり、市長と協議となりました。親の負担は分かる。そもそもこの事業が始まった経緯を考えた時に、PTA だけに任すということではなく、地域の中で「グラウンド見守り隊」、「芝生見守り隊」ということを将来的には組織しよう。それが出来るまでは、シルバー人材センターを活用する。そういう考え方で今はやっている状況です。

(17:20 閉会)